

# 事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	府中駅南口再開発推進事業			事務事業コード	40650100
概要	府中駅南口第一地区市街地再開発事業				
総合計画	基本施策	2	まちの拠点整備	主管部課名	都市整備部 地区整備課
	施策	65	駅周辺整備事業の計画的推進	事業類型	法定事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	平成20年度～	見直しの裁量
根拠法令等	都市計画法、都市再開発法				
市関連事業	府中駅南口地区第一種市街地再開発事業				
対象	府中駅南口第一地区市街地再開発組合の組合員				
実施の背景	府中市の表玄関にふさわしい交通結節点の整備と商業・業務機能の誘引により、魅力ある広域的中心拠点の再生を図る。				
事業目標	本市の表玄関である京王線府中駅周辺の中心拠点となる府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業を推進し、中心商業地としてのにぎわいと活力の創出を図る。				
事業内容	府中駅南口第一地区市街地再開発事業は第二・第三地区は既に事業が完了しており、府中駅南口第一地区市街地再開発組合を支援し、残る第一地区の施設建築物及び公共施設の完成により事業全体の完了を目指す。				

## 2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成28年度中の施設建築物及び公共施設工事完成を目指し事業を進める第一地区市街地再開発組合を引き続き支援した。また、国庫補助金及び都補助金を申請し、補助金及び公共施設管理者負担金を交付した。	第一地区市街地再開発組合を引き続き支援し、国庫補助金及び都補助金を申請し、補助金及び公共施設管理者負担金を交付した。組合では、既存建物の明渡しに時間を要し、調査、工事着手が遅れたことから、工期短縮を図るための工事方法を検討しながら工事完了を進めてきましたが、工事期間を平成28年度から平成29年度とする事業計画の変更を行った。	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
平成29年6月末の施設建築物及び公共施設工事竣工、7月の再開発ビルオープンを目指し、引き続き第一地区市街地再開発組合を支援する。また、国庫補助金及び都補助金を申請し、補助金及び公共施設管理者負担金を交付する。	平成29年6月末の施設建築物及び公共施設工事竣工、7月の再開発ビルオープンを目指し、引き続き第一地区市街地再開発組合に対し、技術的、財政的支援を行う。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成29年6月末の施設建築物及び公共施設工事竣工、7月の再開発ビルオープンを目指し、引き続き第一地区市街地再開発組合を支援した。また、国庫補助金及び都補助金を申請し、補助金及び公共施設管理者負担金を交付した。	組合は、施設建築物及び公共施設工事を概ね計画どおり実施できた。	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
平成29年6月末の施設建築物及び公共施設工事竣工、7月の再開発ビルオープンを目指し、引き続き第一地区市街地再開発組合を支援する。また、国庫補助金及び都補助金を申請し、補助金及び公共施設管理者負担金を交付する。	平成29年6月末の施設建築物及び公共施設工事竣工、7月の再開発ビルオープンを目指し、引き続き第一地区市街地再開発組合に対し、技術的、財政的支援を行う。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	府中駅南口地区市街地再開発事業は、第二及び第三地区の事業が完了し、残る第一地区の事業を推進し、早期の事業完了を目指す。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

## 3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
府中駅南口地区第一種市街地再開発事業の都市計画道路の整備率	90	計画 当初値	90	90	100	100	100	府中駅南口地区第一種市街地再開発事業区域内の第二・第三地区は事業が完了し、商業・業務・住宅・公共（道路等）の核施設が整備されている。
		計画 補正值	-	-	90	100	平成29年度	
	%	実績	-	90	90	-	-	
府中駅南口地区第一種市街地再開発事業の進捗率	70	計画 当初値	70	70	100	100	100	
		計画 補正值	-	-	70	100	平成29年度	
	%	実績	-	70	70	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	6,836,160,000	4,406,333,000	4,140,644,000	4,280,179,000	244,180,000	0
国庫支出金	2,825,860,000	2,080,146,000	2,309,180,000	1,717,100,000	100,600,000	0
都支出金	980,680,000	593,625,000	729,659,000	372,015,000	22,350,000	0
市債	871,000,000	857,000,000	484,000,000	1,192,000,000	0	0
その他	2,012,489,000	202,400,000	202,450,000	399,320,000	2,400,000	0
一般財源	146,131,000	673,162,000	415,355,000	599,744,000	118,830,000	0
予算現額	7,114,860,000	3,947,287,000	4,875,262,000	7,670,101,000	0	0
決算額	7,114,757,957	3,947,254,557	4,874,000,957	7,663,747,677	0	0
国庫支出金	2,764,992,000	1,912,464,000	2,781,777,000	3,898,016,000	0	0
都支出金	1,014,870,000	548,726,000	767,089,125	1,295,695,000	0	0
市債	930,000,000	725,000,000	527,000,000	1,052,000,000	0	0
その他	2,012,406,957	202,367,957	202,367,957	1,351,325,677	0	0
一般財源	392,489,000	558,696,600	595,766,875	66,711,000	0	0
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	6.05	5.70	5.70	0.00		
職員人件費	48,353,826	43,398,404	44,410,085	0		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	600,009	516,014	644,841	0		
総コスト	7,163,711,792	3,991,168,975	4,919,055,883	7,663,747,677	0	0

## 5 これまでの取組及び今後の展開

<b>これまでの主な取組と成果</b>
府中駅南口第一地区市街地再開発組合は平成23年5月に組合設立認可を受け、平成25年9月に権利変換計画認可を取得した。その後、既存建物の明渡しが時間を要し、調査、工事着手が遅れたため、工期短縮を図るための工事方法を検討しながら工事を進めてきたが、工事期間を平成28年度から平成29年度とする事業計画の変更を行った。 市は、第一地区市街地再開発組合に引き続き支援を行い、国庫補助金及び都補助金を申請し、組合に対し、補助金及び公共施設管理者負担金を交付している。
<b>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</b>
府中駅南口第一地区市街地再開発組合を引き続き支援し、施設建築物・公共施設工事が完了することにより、既に事業が完了している第二、第三地区とあわせ府中駅南口再開発推進事業の完了を目指す。

## 6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	05	1092500	補助金 府中駅南口券売機室移設費	54,000,000	0	
2	01	40	15	05	1092501	補助金 府中駅南口券売機室移設費	0	5,793,400	
3	01	40	15	10	1088000	府中駅南口再開発推進事業費 諸経費	2,476,000	2,372,277	2,400,000
4	01	40	15	10	1090000	負担金 全国市街地再開発協会	80,000	80,000	80,000
5	01	40	15	10	1091000	補助金 府中駅南口地区市街地再開発事業費	557,055,000	180,000,000	12,000,000
6	01	40	15	10	1091001	補助金 府中駅南口地区市街地再開発事業費	0	3,875,836,000	
7	01	40	15	10	1092100	負担金 府中駅南口地区公共施設管理者	3,666,568,000	3,414,866,000	229,700,000
8	01	40	15	10	1092101	負担金 府中駅南口地区公共施設管理者	0	184,800,000	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,280,179,000	7,663,747,677	244,180,000

# 事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	けやき並木周辺整備事業			事務事業コード	40660100
概要	けやき並木通りの歩行者専用化を実現するための代替道路の整備				
総合計画	基本施策	2	まちの拠点整備	主管部課名	都市整備部 土木課
	施策	66	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	平成20年度～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業				
対象	宮西町一丁目、二丁目地内周辺				
実施の背景	けやき並木通りの歩行者専用化を進めるため				
事業目標	宮西町地区道路整備計画に基づき道路整備を行う				
事業内容	市道4-10号拡幅整備事業、市道4-11号拡幅整備事業、市道4-12号拡幅整備事業、市道4-14号拡幅整備事業、市道4-488号新設整備事業、市道4-503号新設整備事業				

## 2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>市道4-10号、4-12号、4-14号、4-488号、市道4-503号については継続用地交渉を行った</li> <li>市道4-503号の埋蔵文化財発掘調査委託を行った</li> <li>市道4-10号、4-12号の基本設計委託、用地調査委託を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地交渉については継続していく</li> <li>埋蔵文化財発掘調査は予定通り行った</li> <li>基本設計委託、用地調査委託は予定通り行った</li> </ul>	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>けやき並木通りの埋蔵文化財発掘調査、支障物件移設、改良工事を行う</li> <li>市道4-10号、4-12号、4-14号、4-488号、市道4-503号については継続用地交渉を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>けやき並木通りは再開発事業の進捗よくに合わせた整備を行う</li> <li>宮西町地区道路整備事業については引き続き用地交渉を行う</li> </ul>

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>けやき並木通りの埋蔵文化財発掘調査、支障物件移設、改良工事を行った</li> <li>市道4-10号、4-12号、4-14号、4-488号、市道4-503号については借地権境界の確認や用地交渉を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財発掘調査、支障物件移設、改良工事については計画通り事業を実施した</li> <li>市道4-10号、4-12号にかかる道路用地の借地権境界確認は借地人の8割程、承諾してもらった</li> <li>市道4-503号の道路用地の一部が取得できた (土地開発公社により)</li> </ul>	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>けやき並木通り植樹帯石積改修工事を行う</li> <li>市道4-10号、4-12号、4-14号、4-488号、市道4-503号については用地取得にむけて交渉を継続する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>けやき並木通り植樹帯石積改修工事を行う</li> <li>宮西町地区道路整備事業については引き続き用地交渉を行う</li> </ul>

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備可能な所から工事を行っていく</li> <li>用地交渉は時間を要するため継続して行っていく</li> </ul>
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	30,000,000	30,700,000	23,050,000	62,600,000	23,100,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	17,200,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	12,800,000	30,700,000	23,050,000	62,600,000	23,100,000	0
予算現額	15,000,000	26,008,000	20,550,000	76,500,000	0	0
決算額	11,873,675	24,620,544	16,692,156	75,157,836	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	6,230,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,643,675	24,620,544	16,692,156	75,157,836	0	0
執行率	79.2%	94.7%	81.2%	98.2%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	1.10	1.10	2.20	2.20		
職員人件費	8,791,605	8,375,131	17,140,735	17,143,507		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	0	0	0	687,825		
総コスト	20,665,280	32,995,675	33,832,891	92,989,168	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p><b>これまでの主な取組と成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼市道4-10号、市道4-14号、市道4-488号、市道4-503号の道路事業用地を取得した（財産活用課）</li> <li>▼市道4-10号、市道4-11号、4-12号、市道4-14号の一部区間の拡幅整備を行った</li> <li>▼市道4-10号、市道4-11号、市道4-14号、市道4-488号、市道4-503号の区域変更（管理課）</li> <li>▼市道4-10号、市道4-14号、市道4-488号、市道4-503号の建基法42条1項4号の指定（建築指導課）</li> </ul>
<p><b>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼新設・拡幅に伴う関係権利者の協力及び財源確保</li> </ul>

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	10	15	1055750	けやき並木周辺整備事業費 埋蔵文化財発掘調査委託料	2,000,000	1,968,868	
2	01	40	10	15	1055800	けやき並木周辺整備事業費 物件補償費	18,500,000	18,336,848	
3	01	40	10	15	1055900	けやき並木周辺整備事業費 建設工事費	42,100,000	54,852,120	23,100,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							62,600,000	75,157,836	23,100,000

# 事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業			事務事業コード	40660200
概要	国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策事業				
総合計画	基本施策	2	まちの拠点整備	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	66	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	法定事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	平成11年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業	けやき並木周辺整備事業				
対象	国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木				
実施の背景	市のシンボルでもある国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木が衰退しているため、その保護に必要な対策を検討し、実施している。				
事業目標	本市のシンボルであるケヤキ並木が、将来にわたって、いつまでも健全な状態で保護され、府中市のシンボルとしてふさわしい景観を保全する。				
事業内容	平成20年2月に策定した保護管理計画に基づき、ケヤキ並木の保護対策を実施するため、毎年春・秋2回の全樹木の巡回調査とそれに基づく対策の策定と他課への指導をする。また、全樹木に管理用の樹名板の設置、全樹木の樹高、胸高周囲を記録し成長、衰退度合いを数値化するなどの対応をとる。				

## 2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
春、秋2回の全樹木の巡回監視を実施し、問題状況や管理の優先度、必要な管理内容等を確認するとともに、次年度の作業内容を整理した。	巡回監視の結果、ケヤキの古木に主幹部の腐朽、倒木の危険性、水ストレス、枯損枝等の落枝などの問題が確認され、関係課と連携して古木の処理に当たった。	

新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
例年同様、春と秋の巡回監視を実施し、密度管理や保護管理の面から伐採の対象となる木については、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応する。	伐採の緊急性が高い古木などの抽出や、古木以外の次世代木の保護管理について、巡回監視を活用しながら進めていく。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
春と秋の全樹木の巡回監視を実施し、密度管理や保護管理の面から伐採の対象となる木については、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応した。	巡回監視を実施しながら、伐採が必要な危険木の抽出や、古木以外の次世代木の保護管理を行った。 また、倒木などの危険性が高い樹木の伐採や古木への被圧要因である石垣の一部除去は、関係課の協力を仰ぎながら実施した。	

新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
例年同様、春と秋の巡回監視を実施し、密度管理や保護管理の面から伐採の対象となる木については、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応する。 また、木の成長や密度管理を行ってきたことから、保護管理計画の見直しが必要となってきたため、29年度に見直しを行っていく。	古木の保護管理の方向性や伐採によってできた空間への補植など、適切なケヤキ並木の保護・管理を進めていくために、保護管理計画の見直しを行っていく。 また、巡回監視を実施しながら、古木以外の次世代木の保護管理を行っていく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	今後も引き続き、保護管理計画及び保護活用計画に基づき、関係課と連携してケヤキ並木の保護管理を行っていく。 また、これまで実施してきた樹木の伐採や樹木の生長などによって、保護管理計画の見直しが必要となってきたため、平成29年度に保護管理計画の見直しを行う。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

## 3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
次世代に古木となるけやき 後継樹の本数	200	計画 当初値	189	178	167	157	次世代に古木となるけやき後継樹の本数は、木の管理を進めた結果、計画値を下回っているため、補植等が必要となってきている。
		計画 補正值	-	0	0	0	
	本 実績	182	178	134	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	- 実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	3,122,000	2,512,000	2,631,000	4,176,000	3,344,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,122,000	2,512,000	2,631,000	4,176,000	3,344,000	0
予算現額	3,115,000	2,512,000	32,494,000	4,176,000	0	0
決算額	2,633,400	2,263,500	32,492,700	4,153,680	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,633,400	2,263,500	32,492,700	4,153,680	0	0
執行率	84.5%	90.1%	100.0%	99.5%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.90	0.90	1.00	1.00		
職員人件費	7,193,131	6,852,380	7,791,243	7,792,503		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	41,059	54,507	67,832	55,736		
総コスト	9,867,590	9,170,387	40,351,775	12,001,919	0	0

## 5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>国指定天然記念物である馬場大門のケヤキ並木保護対策事業は、平成20年2月の保護管理計画策定以後、その計画に基づいた保護対策を実施してきた。平成20年度以降の保護対策業務では、枯死木の伐採、危険木の対応、並木全体の現状確認と樹木診断、土壌硬化度の測定や土壌水分計による調査、伐採した樹木の年輪の年代確認と保存等を行った。また、けやき並木通りの開発事業に対するケヤキ並木の保護に関する行政指導を実施した。</p> <p>平成27年度には、ケヤキ並木全体の緊急危険度診断を行い、その結果を受け、平成28年度に関係課に協力を仰ぎ、枯れ枝の除去や危険木の伐採等を実施した。</p>
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき並木通りに中高層建築物が建設される中で、いかにケヤキ並木を将来的に保護していくか、更には、国天然記念物指定地内における樹木の保護対策に加えて、周辺建築物に対する保護対策の強化が課題である。</li> <li>・国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木は、国内唯一の国指定のケヤキ並木で、府中のみならず日本国民にとっても貴重な文化財である。東京の市街地にあるケヤキ並木を、いかに将来にわたって保護していくか、土地所有者、沿道の住民や事業者と協働で、積極的に取り組んでいくことが肝要と考えている。</li> </ul>

## 6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1528100	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業費	4,176,000	4,153,680	3,344,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,176,000	4,153,680	3,344,000

# 事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	けやき並木通り車両交通規制事業			事務事業コード	40660300
概要	けやき並木の歩行者専用道路化に付随する試験的な車両交通規制の実施				
総合計画	基本施策	2	まちの拠点整備	主管部課名	生活環境部 地域安全対策課
	施策	66	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成22年度～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業	けやき並木周辺整備事業				
対象	市民及び府中駅周辺の買い物客等				
実施の背景	市民の安全な歩行空間の確保と、けやき並木と調和した魅力あるまちづくりの推進及びけやき並木の将来にわたる保護・保存を目標とする「けやき並木歩行者専用道路化」の試験的事業として、けやき並木通りの車両交通規制が求められた。				
事業目標	けやき並木通り車両交通規制の実施により、安全な歩行空間を確保する。				
事業内容	歩行者の安全確保と車両の誘導を行うことを目的とした警備業務の委託（平成26年度現在：日曜日及び祝・休日に実施）。				

## 2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽けやき並木通りの車両交通規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入り口先から大國魂神社前交差点までの間	けやき並木通りの車両交通規制を通常どおり実施することができた。また委託業者に業務報告書の作成を依頼し、提出してもらうことで、現場状況の把握に努めた。	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
▽けやき並木通りの車両交通規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入り口先から大國魂神社前交差点までの間	車両交通規制の周知に努め、けやき並木通りの活用に合わせた有効な車両交通規制を実施する。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽けやき並木通りの車両交通規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入り口先から大國魂神社前交差点までの間	けやき並木通りの車両交通規制を平常どおり実施することができた。また、委託業者に業務報告書の作成を依頼し、提出してもらうことで、現場状況の確認に努めた。委託業者との連携を密にして通常の車両交通規制やけやき並木通りで開催されるイベント等に支障のないよう努めた。	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
▽けやき並木通りの車両交通規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入り口先から大國魂神社前交差点までの間	車両交通規制の周知に努め、けやき並木通りの活用に合わせた有効な車両交通規制を実施する。 今後も委託業者との連携を密にし、通常の車両交通規制やけやき並木通りで開催されるイベント等に支障のないよう努めていく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	今後のまちづくりの方向性が定まるまで現状のまま継続していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	7,644,000	3,951,000	4,177,000	4,512,000	4,512,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,644,000	3,951,000	4,177,000	4,512,000	4,512,000	0
予算現額	7,644,000	3,951,000	4,177,000	4,512,000	0	0
決算額	3,020,502	3,508,301	3,836,160	3,941,932	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,020,502	3,508,301	3,836,160	3,941,932	0	0
執行率	39.5%	88.8%	91.8%	87.4%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.46	0.60	0.40	0.40		
職員人件費	3,676,489	4,568,253	3,116,497	3,117,001		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	46,651	69,729	34,671	39,971		
総コスト	6,743,642	8,146,283	6,987,328	7,098,904	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p><b>これまでの主な取組と成果</b></p> <p>規制区間の延伸について、近隣住民の理解も得られたことから、平成26年6月1日（日）より延伸規制を開始し、交通規制箇所での歩行者の安全確保及び車両誘導を行った。 また委託業者に月に1回業務報告書の作成を依頼し、提出してもらうことで、現場状況の把握に努めた。 委託業者との連携を密にし、通常の車両交通規制やけやき並木通りで開催されるイベント等に支障のないよう努めた。</p>
<p><b>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</b></p> <p>車両交通規制の周知徹底を図るとともに、将来的には、交通規制の日時の拡大も視野に入れながら、「けやき並木歩行者専用道路化」の試験的事業の一つとして、けやき並木と調和した魅力あるまちづくりの一端を担う効果的な車両交通規制を検討していく。 今後も連携を密にし、トラブル等発生した際には早急に対策が取れる体制を整えていく。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	05	40	0167500	けやき並木通り車両交通規制事業費	4,512,000	3,941,932	4,512,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,512,000	3,941,932	4,512,000

# 事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	中心市街地活性化事業			事務事業コード	40660400
概要	中心市街地活性化事業				
総合計画	基本施策	2	まちの拠点整備	主管部課名	生活環境部 経済観光課
	施策	66	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成27年度～	見直しの裁量
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律				
市関連事業					
対象	府中駅周辺地区				
実施の背景	府中駅周辺において、エリアマネジメントの取組等を行い、地域の活性化を後押しする必要がある。				
事業目標	中心市街地の活性化に関する法律に基づく中心市街地活性化基本計画を策定し、民間活力と連携しながら中心市街地の賑わい性の強化とけやき並木の保護管理を進める。				
事業内容	府中駅周辺において、中心市街地活性化基本計画を策定し、地域の活性化を後押しする観光施策や地域商店街の活性化につながる取組を展開する。 また、府中駅周辺における民間活力と連携した会議の運営を行う。				

## 2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
中心市街地活性化協議会 10回開催 調査基本調査の実施 分析基本計画策定に係る提案と原案の作成 関係事業の検討・調整 内閣府申請書類の作成	けやき並木を中心とした中心地の活性化を進め、都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進する中心市街地活性化基本計画を作成した。	



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
定期フォローアップ調査の実施 中心市街地活性化協議会運営支援 フォローアップ結果のとりまとめ及び分析並びに検証	中心市街地活性化基本計画の目標指標を達成するためフォローアップを確実に実施していく。



新規・レベルアップ
  継続
  見直し
  廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本計画の推進及び「一般社団法人まちづくり府中」が行う各種事業の定期フォローアップの実施に対する支援</li> <li>「一般社団法人まちづくり府中」への基金の拠出</li> <li>「一般社団法人まちづくり府中」が行う各種中心市街地にぎわい創出事業への支援</li> </ul>	中心市街地活性化基本計画の推進を図るため、「一般社団法人まちづくり府中」が行う、同計画に掲げる各種事業の定期フォローアップに対する支援を行う。また、「一般社団法人まちづくり府中」への基金の拠出を行うとともに、「一般社団法人まちづくり府中」が行う各種中心市街地にぎわい創出事業への支援を継続して行っていく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	中心市街地活性化基本計画で掲げる指標の達成に向けて、「一般社団法人まちづくり府中」をはじめとした関係事業者や団体とともに、各種事業に取り組んでいく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	0	0	7,121,000	5,688,000	19,485,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	3,497,000	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	7,121,000	5,688,000	15,988,000	0
予算現額	0	0	18,466,000	22,338,000	0	0
決算額	0	0	18,290,960	21,920,771	0	0
国庫支出金	0	0	0	13,125,223	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	18,290,960	8,795,548	10,000	0
執行率	0.0%	0.0%	99.1%	98.1%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.00	1.18	3.50	1.52		
職員人件費	0	8,998,074	27,269,351	11,844,605		
嘱託員数		0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費		1,151	341,491	237,772		
総コスト	0	8,999,225	45,901,802	34,003,148	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<b>これまでの主な取組と成果</b>
内閣総理大臣の認定取得に向け、中心市街地活性化基本計画を取りまとめた。また、同計画で主要事業と位置付ける「エリアマネジメントを進める新たな組織機構」として、「一般社団法人まちづくり府中」の設立を支援するとともに、基金への拠出を行った。そのほか、中心市街地の回遊性を高める取組として、東京競馬場とのタイアップ事業を実施した。
<b>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</b>
中心部のにぎわいを強化するソフト事業について、エリアマネジメントを実践するまちづくり会社等を設立し民間活力と連携していく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	60	2115801	中心市街地等にぎわい強化事業費	0	12,900,000	
2	01	35	05	05	0934500	まちづくり会社出資金	0	3,000,000	6,000,000
3	01	35	05	05	0934600	補助金 まちづくり会社設立事業費	0	450,444	
4	01	35	05	05	0934700	中心市街地にぎわい創出事業費			6,994,000
5	01	35	05	05	0934800	負担金 まちづくり府中			0
6	01	40	15	05	1058007	中心市街地活性化協議会運営費	158,000	40,727	
7	01	40	15	05	1058010	中心市街地活性化基本計画推進事業費	5,530,000	5,529,600	6,491,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,688,000	21,920,771	19,485,000